

【第47回全国高等学校総合文化祭（2023 かがしま総文 ～祝 美術部出展～）】

令和5年7月20日

7月29日から8月4日まで鹿児島県で開催される「2023 かがしま総文」に本校美術部員の作品が選ばれ、出展することとなりました。美術部長C3A 阿部 夕花さん、同じくC3A柴田 知歩さんの2名です。阿部さんは絵画と写真の2点、柴田さんは立体造形1点を出展します。



柴田さん 阿部さん

阿部さんの絵画作品は、「赫灼」というタイトルで、「かくしゃく」と読み、「光り輝いている」という意味です。山口先生の元気で明るいところと、赤のハーフパンツが印象的だったのでモデルになっていただいたそうです。また、ウェイトリフティングに取り組む力強さを表現したそうです。



「赫灼」

とてもインパクトが伝わる作品ですね。「美術・工芸部門 特選」を受賞しました。さらに、兵庫県高等学校文化連盟より推薦され、兵庫県庁に展示されることとなり、8月22日には教育長より感謝状を贈呈されます。おめでとうございます！



「神様、繋がりますように」

写真作品は、「神様、繋がりますように」というタイトルで、公衆電話と神様をモチーフにし、どちらも時代とともに忘れ去られていってしまう存在の象徴の一つとして選んでいます。学生を入れたのは現代と昔を繋げる意味が込められています。とてもノスタルジーを感じる作品です。「写真部門最優秀賞」に輝きました。



「Made in Taiyaki Okoku」

柴田さんの立体造形作品は、「Made in Taiyaki Okoku」です。たい焼きというイメージが面白く、作品にしてみたいと感じて制作したそう

です。何度も観察して、一生懸命造形したそうで、たい焼きに真剣に向き合ったことがよく分かる作品です。柔軟でユニークな発想で、たい焼きも芸術になるんだ、と改めて芸術の楽しさを実感させてくれる作品です。

「美術・工芸部門 特選」を受賞しています。2人とも制作に3ヶ月以上かかったそうで、出展の喜びをかみしめていました。全国の他の作品を鑑賞して学べるのも楽しみだそうです。 Let's go Kagoshima!